

## インターバンクの声（2017 年 9 月 19 日）

北朝鮮情勢を懸念した地政学リスクやらトランプ米大統領の政権運営が不安視されるなど、レンジ相場から抜け出せないながらも、いつ大きく動き始めるかわからない相場に休暇を取り損なってしまったディーラー仲間も少なくない。今年は欧州を中心に海外旅行はどこに行ってもテロの脅威などがリスクとなっていたことに目をつぶれば、需要減から欧州向けの航空券やホテル代などは比較的価格が抑えられていたこともあって、欧州への旅行などを考えていた人たちにとっては経済面では魅力があった。為替面でも 5 月から 6 月頃であればユーロ/円も 125 円前後で調達が可能だった。年度が替わった直後の 4 月上旬の時期に海外に出掛けられるような方は限られたはずだが、その時であればユーロ/円が 115 円から 122 円程度で、足元の 133 円前後のレートからは信じられない安さだ。友人は欧州行きの計画を来年に延期して国内の温泉に行くことにしたようだが、複数の銀行や証券の年末や来年への為替見通しがユーロ高や新興国通貨高になってきている。自分が実際に行く段になると現地通貨高になると感じる人も多いはずだが、足元のドル/円も 9 月 8 日の 107 円台から 4 円超も円安に戻しており、明日の米 FOMC 後の反応が気になる。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。